

○令和5年度 国立大雪青少年交流の家体験活動普及啓発事業

「 たびうさぎファミリー～スノーパーク編～ 」(R6.2.23 (金)～24 (土))

◆目的

冬の遊びを通して家族が外遊びの楽しさと意義を体感するとともに、家族の交流の機会とします。

◆参加実績 (定員 10 家族)

6 家族 24 名

◆プログラム

【大雪スノーパークフェスティバル (9 : 00～15 : 00) 両日】

・同日程 (日帰り) で実施している「大雪スノーパークフェスティバル 2023」の中の、各アクティビティを家族ごとに選択し、冬の大雪を楽しんだ。(以下体験プログラム)

(スノーシュー体験、森の探検隊 (歩くスキー)、スノーラフティング体験、雪板体験、雪遊びコーナー (ソリ・チューブ滑りなど))

【ナイトプログラム (60 分)】

・法人ボランティアが企画した室内、屋外プログラムを家族ごとで選択し体験した。

・ナイトハイク (屋外) では、ランタンを片手にグラウンドで星座観察やスノーキャンドルに明かりを灯すなど-10℃を超える真冬の夜に外で活動する機会を設けた。

・日本のむかしあそび (室内) では、「自己紹介ゲーム」や「はないちもんめ」などのむかしあそびを通じて、家族間で交流ができるプログラムを企画した。



◆事業運営・企画のポイント

- ・年間のたびうさぎ事業を通して、宿泊を希望する家族が多いため、宿泊ができるようにすることで事業に参加しやすい環境を作った。
- ・北海道内の子どもの課題である体力の低下、冬季期間の運動機会の減少など地域の課題を解決するための一助となるように、子どもたちが存分に屋外で楽しんで遊ぶことができる場とした。
- ・幼少期の野外活動の推進や家庭教育支援の取組として家族団らんの時間を提供するなど、本道の子どもの課題も踏まえ、家族で思いっきり外遊びができるようにした。

◆参加者の声

- ・ 4歳児が力いっぱい遊び、小1、小3も満足でした。
- ・ 家族で楽しむことができた。
- ・ 雪山に登るのが楽しかった。
- ・ 親子4人でとても楽しく、活動することができました。
- ・ また活動があれば、参加させて頂きたいと思いました。

◆事業の成果

- ①冬の活動を通して、冬に屋外で遊ぶことの楽しさを体感してもらうことができた。また、冬季期間の運動会場の場を提供することができた。
- ②参加した子どもたちが楽しみながら、自ら進んで活動に取り組む様子があり、子どもが成長できる場となった。
- ③全体のプログラムを通じて、家族内の交流を深める機会を提供することができた。